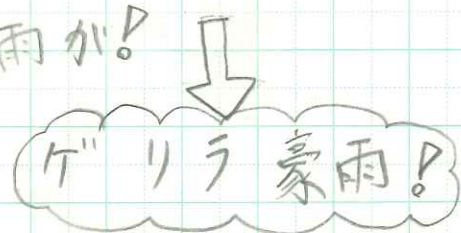


上昇気流で積乱雲ができる。
夏の強い日差しで地面近くの空気が温められると、上昇気流が発生し、積乱雲という雲をつくる。

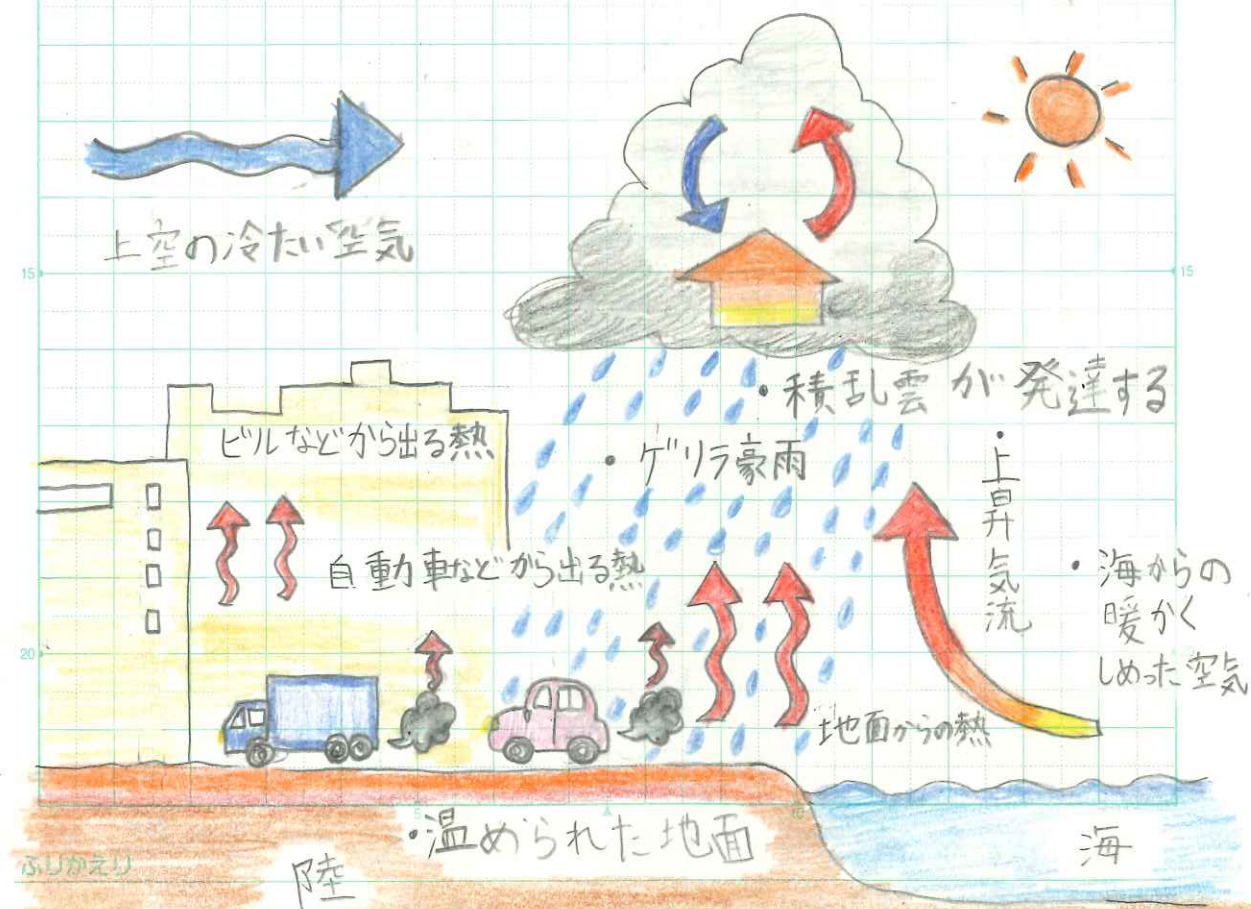


急激に発達した積乱雲が降らせる雨

この雨が!



★ゲリラ豪雨が発生するメカニズム



・強い日差しで地面が温められる
強い日差しで地面が温められ、その熱で地面の近くの空気の温度が上がる。

・上昇気流が発生する

海からも暖かくしめ、た空気が流れこみ、地面から上空に向かって暖かい空気がのぼる、上昇気流が発生する。

・大気が不安定になる

上空に冷たい空気が流れこむ。冷たい空気は重く下へ降りようとし、暖かい空気は軽いので上へのぼろうとするため、温度差が大きくなり、大気が不安定な状態になる。

・積乱雲が発達する

大気が不安定な状態で上昇気流が発生すると、積乱雲が発達する。

・ゲリラ豪雨が起こる

積乱雲の中で大量の水や氷のつぶが大きくなり、大雨となって降る。

人間の活動が関係しているということがよく分かりました。

5/26 +2